

大学コンソーシアム富山 令和5年度地域課題解決事業申請書

(**新規** ・ 継続)

自治体等名	富山市	担当者	所属 活力都市創造部 まちづくり推進課 氏名 中田 翔平 TEL 076-443-2054 E-mail machidukuri@city.toyama.lg.jp	
地域課題名	中心市街地の空き店舗・空き地、広場等を活用した持続的な賑わいの創出について	事業費	500千円	
地域課題の背景	本市では、中心都市街地の活性化に向け、賑わいづくりの担い手や新規出店者へ支援し、グランドプラザ・ウエストプラザ・大手モール広場といった公設広場を活用した賑わいづくりを推進しているが、既存の都市アセットを継続的に利活用していく担い手や企画立案者が不足しており、恒常的な賑わいの創出には至っていない。			
課題の概要	<p>(1) 課題＝解決したい問題の説明、(2) その課題解決において自治体が行うこと、(3) 高等教育機関に求めたいこと、<u>についてできるだけ具体的に記入願います</u></p> <p>(1) その地域に住む人や商店主と連携しながら、空き店舗・空き地の利活用や公設広場の利用を推進し、賑わいを創出したい。</p> <p>(2) 意見交換会の実施や民主導による有用な施策には補助金の支出、実践の際には、助言や活動のサポートを行う。</p> <p>(3) 市民が主体となって持続的に取り組むことができる体制を検討しながら、空き店舗や空き地、広場の利活用方法をご提案いただきたい。また、利活用案については、実現可能性が高いものとし、有用な提案については市へ補助金申請し、実践・分析を行っていただきたい。</p>			
事業実施に当たっての協働体制	<p>【自治体等の役割】</p> <p>学生が現地調査を行う際の事務手続きの補助。 市の施策の情報提供。</p> <p>【高等教育機関の役割】</p> <p>課題解決のための調査研究及び利活用方法について提案する。 結果について各大学で成果発表を行う。</p>			

成果の活用 方法	利活用案については、地域住民・市等と協議し、学生や地域住民等が事業主体として実現を目指す。
-------------	---

【作成上の注意】

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 2 課題に関する詳細資料(秘密事項は除く)がある場合は、添付願います。
- 3 課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 4 申請書は1ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。